

製品についてのご相談や、その他ご不明な点は、営業担当者までお問い合わせください。
なお、製品の仕様は予告なく変更することがあります。

取扱上の注意

掲載製品の性状、性能等は弊社試験方法による測定値や知見で、正確さや完全さを保証するものではありません。また、製品の性能向上のため、予告なく仕様を変更することがあります。製品による事故の発生を予防するPL法、消防法、安衛法等の法律があります。ご使用にあたりましては、該当法律を遵守してください。

安全にご利用いただくために、安全データシートもしくは製品容器に表示の使用上の注意をよく読んで、正しくお使いください。



ユシロ化学工業株式会社

〒146-8510 東京都大田区千鳥2-34-16

東京支店 (03)3750-1101	福山営業所 (084)945-0555
名古屋支店 (052)891-0967	広島営業所 (082)506-1456
大阪支店 (072)848-7211	九州営業所 (092)432-9233
北海道営業所 (011)887-0390	テクニカルセンター
東北営業所 (022)297-0577	神奈川 (0467)75-0175
北関東営業所 (0285)27-0766	名古屋 (052)891-0967
浜松営業所 (053)436-6291	

<https://www.yushiro.co.jp/>



ISO 9001
JQA-1450
富士工場
JQA-1953
兵庫工場



ISO 14001
JQA-EM0809
富士工場
JQA-EM1432
兵庫工場



この印刷物は環境にやさしい
植物油インキと森林保全に
配慮したFSC®認証紙を使用
しています。

YUSHIRO CLEANER



YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.

YUSHIRO RECOMMENDATION

推奨製品一覧



荷姿: 18ℓ缶 / 200ℓドラム



ユシロクリーナー W・PCW／水系洗浄剤

荷姿：18ℓ缶／200ℓドラム

タイプ	品 名	適用金属 ¹⁾			性状				洗浄方法と適温(℃) ²⁾				法規制	性能 ³⁾							特徴	用途
		鉄	銅	アルミ	外観	密度 (g/cm ³) (15℃)	pH (3%)	表面張力 (mN/m,3%)	使用濃度 (%)	浸漬 揺動 超音波	シャワー スプレー	高圧 ジェット		PRTR法 ⁴⁾	洗浄性	防錆性 (鉄)	消泡性	抗 乳化性	耐 腐敗性	耐 硬水性		
軽質汚れ対象	中性	PCW51H	△	○	◎	淡黄色液状	1.03	7.5	32	1～5	室温～80	室温～80	室温～80	○	○	△	◎	○	▲	○	非鉄に対する影響が小さく、スプレー洗浄に適する。	非鉄部品のスプレー・ジェット洗浄。
	アルカリ性	W80	◎	○	◎	淡黄色液状	1.06	9.0	38	2～5	室温～80	室温～80	×	○	○	◎	○	○	▲	◎	鉄・非鉄の防食性に優れる。	鉄・アルミ・銅系部品の機械加工後の工程間洗浄。
		PCW82	◎	○	◎	淡黄色液状	1.06	9.0	35	2～5	室温～80	室温～80	×	○	○	◎	○	○	△	◎	W80の防錆性を高めた汎用洗浄剤。	鉄・アルミ・銅系部品の機械加工後の工程間洗浄。
		PCW97	◎	○	○	淡黄色液状	1.04	9.2	38	2～5	室温～80	室温～80	室温～80	○	○	◎	◎	○	○	◎	消泡性に優れる。	鉄・アルミ部品のスプレー・ジェット洗浄。
		PCW161	◎	◎	◎	淡黄色液状	1.03	9.0	38	2～5	室温～80	室温～80	室温～80	○	○	◎	○	○	○	○	銅に対する影響が小さい。	鉄・アルミ・銅系部品の機械加工後の工程間洗浄。
		PCW300	◎	○	◎	微黄色液状	1.03	9.0	45	2～5	室温～80	室温～80	室温～80	○	○	◎	◎	◎	○	◎	不水溶性、水溶性加工油に対する油水分離性に優れる。	鉄・アルミ部品の機械加工後のスプレー・ジェット洗浄。
		PCW553X	◎	○	○	淡黄色液状	1.02	9.8	32	2～5	室温～80	室温～80	×	○	◎	◎	○	○	○	◎	洗浄性と低泡性を両立した洗浄剤。	鉄・アルミ部品の機械加工後のスプレー洗浄。
		PCW562	◎	○	◎	淡黄色液状	1.05	9.0	27	2～5	室温～80	室温～80	×	○	◎	◎	○	△	△	◎	鉄・非鉄の防食性に優れる。洗浄性と液切り性を高めた汎用洗浄剤。	鉄・アルミ部品の機械加工後のスプレー洗浄。

重質汚れ対象	中性	PCW25	△	○	◎	淡黄色透明液状	1.04	8.4	29	2～10	室温～80	50～80	×	○	◎	△	▲	△	▲	◎	洗浄性に優れる。	油汚れの激しい部品の洗浄。
		PCW175M	◎	○	○	黄色液状	1.08	8.4	29	1～5	室温～80	50～80	×	○	◎	○	△	○	○	◎	脱脂力が強い。ワークの表面のベタツキが少ない。抗乳化性に優れる。	油汚れの激しい鉄・アルミ部品の洗浄。特に焼入れ後の洗浄。
	アルカリ性	PCW71	◎	○	◎	淡黄色透明液状	1.16	12.4	34	2～5	50～80	50～80	×	○	◎	○	△	△	◎	○	脱脂力が強い。防食性、耐腐敗性良好。低COD。リンスが必要。	鉄・アルミ部品の洗浄。
		PCW420	◎	△	×	淡黄色液状	1.14	12.3	31	2～5	50～80	50～80	×	○	◎	○	△	△	○	◎	油と金属・土砂等の微粉が混ざった汚れの洗浄に優れる。	ホーニング、ラッピング後の鉄系部品の洗浄。通い箱(通函)の洗浄。

1)適用金属 ◎好適 ○液溜まり、重なり部等の乾燥しにくい部分で変色する場合がある △洗浄条件に合わせた確認が必要 ×不適【非鉄金属に適用する場合は、お問合せください。】

2)洗浄方法 ×泡立ちやすいため不適

3)性能 優←◎―○―△―▲→劣

4)PRTR法 ○非該当 ×該当

ユシロクリーナー O・S・SL／溶剤系洗浄剤

品 名	溶剤の種類	性状				洗浄方法				法規制			特徴	用途
		外観	密度 (g/cm ³) (15℃)	引火点 (℃)	臭気 ¹⁾	浸漬・揺動	ブラッシング	スプレー		危険物の 分類	有機溶剤中毒 ²⁾ 予防規則の分類	PRTR法 ³⁾		
O-200	パラフィン・ナフテン系	無色透明液状	0.81	76 ^{注1}	○	○	○	○	第3石油類	○	○	高引火点、低臭気、透明感良好であるため、灯油、軽油等に替わり、安全性、職場環境の改善が可能。	金属洗浄、磁気探傷液。	
S-100	パラフィン・ナフテン系	無色透明液状	0.76	40 ^{注1}	○	○	○	×	第2石油類	第3種	○	乾燥性に優れる。	塗装部品、機械等の洗浄、金属洗浄。	
SL430	パラフィン系	無色透明液状	0.75	42 ^{注1}	◎	○	○	×	第2石油類	○	○	臭気が極めて少ない。低毒性。乾燥性に優れる。	手作業が多い一般機械、部品等の洗浄。	
SL450	パラフィン系	無色透明液状	0.76	96 ^{注2}	◎	○	○	○	第3石油類	○	○	臭気が極めて少ない。低毒性。高引火点。	手作業が多い一般機械、部品等の洗浄。	

1)臭気 弱←◎―○―△―▲→強

2)有機溶剤中毒予防規則の分類 ○非該当

3)PRTR法 ○非該当 ×該当

注1 TCC(タグ密閉式)による測定です。

注2 C.O.C.(クリーブランド開放式)による測定です。

ユシロクリーナー WR・WRS／水置換剤

荷姿：18ℓ缶／200ℓドラム

品 名	性状			性能	使用方法		法規制			特徴	用途
	外観	密度 (g/cm ³) (15℃)	引火点 (℃)	防錆期間 (日)	使用濃度(%)	洗浄方法	危険物の 分類	有機溶剤中毒 ¹⁾ 予防規則の分類	PRTR法 ²⁾		
WR	黄色透明液状	0.86	76	2～4	2～5	浸漬	第3石油類	○	○	水置換性に優れる。石油系溶剤に2～5%添加して使用する。	鉄、レンズ等表面の水分除去。
WRS	淡黄色透明液状	0.81	76	2～4	原液	浸漬	第3石油類	○	○	WRのストレート使用タイプ。	鉄、レンズ等表面の水分除去。
WRS30	淡黄色透明液状	0.81	76	2～4	原液	浸漬	第3石油類	○	○	非鉄金属への影響が小さい。ストレート使用タイプ。	鉄、非鉄金属、レンズ等表面の水分除去。

1) 有機溶剤中毒予防規則の分類 ○非該当
2) PRTR法 ○非該当 ×該当

ユシロクリーナー MC／工場メンテナンス用水系洗浄剤

タイプ	品 名	性状				使用方法		法規制	特徴	用途
		外観	密度 (g/cm ³) (15℃)	pH (10%)	表面張力 (mN/m,3%)	使用濃度 (%)	洗浄方法			
床用	MC21	青緑色透明液状	1.03	6.9	33	2～10	希釈液を塗布し、自動床洗浄機を用いるかブラシ等で擦る。その後、バキュームまたは水洗いする。	○	中性タイプの床用洗浄剤。	工場床、通路の日常洗浄。
	MC22	緑色透明液状	1.06	12.4	28	2～10		○	汎用の床用洗浄剤。	工場床、通路の定期洗浄。
	MC36	緑色透明液状	1.08	10.9	27	1～5		○	洗浄性に優れる。	汚れの著しい工場床、通路の定期洗浄。
機械及び 工具類	MC72	青色透明液状	1.06	12.6	33	10～100	原液または希釈液を塗布し、濡れたウェス等で拭きあげる。	○	拭き取りが容易であるため、平面部の多い大型機械等に適する。	平面部の多い大型機械、立体物の洗浄。

1)PRTR法 ○非該当 ×該当

濃度測定試薬 amv1のご紹介

本試薬を使うことにより、洗浄剤の濃度が簡単に精度よく測定できます。また、使用する試薬は1種類であるため、試薬管理もしやすいです。

荷姿：1ℓ

濃度測定の操作手順

1

駒込ピペット等で使用液を5mL採取します。

2

使用液5mLをメスシリンダーに移します。

3

滴定試薬を少量入れ、液の色が青色になることを確認します。

4

さらに滴定試薬を少量ずつ入れていきます。(色が徐々に変化)

5

滴定初期は滴定液を0.5～1mL入れる毎にメスシリンダーを軽く振り、液を混合させます。

6

終点が近づくと液の色が緑色になります。終点近くは滴定液を1～数滴ずつ入れます。

7

液の色が黄色になった時点を終点とします。

終点までに入れた滴定試薬の量をメスシリンダーの目盛りから読み取ります。

滴定量 = 目盛り－5mL (最初に入れた使用液量)

廃液処理

滴定終了後の廃液は専用容器に入れて密栓し、冷暗所に保管してください。廃液処理は専門業者に依頼してください。

滴定中の液外観色相変化

滴定前 滴定中 終点

ユシロクリーナーPCW562の濃度検量線

濃度(%)

濃度(倍率) 計算方法 【例】PCW562の使用液濃度(%)は…0.21×滴定量(mL)

5

6